

オフサイトセンターの建設について

平成30年 8月31日

宮城県原子力安全対策課

1 オフサイトセンターの役割と建設の経緯

オフサイトセンターは、原子力災害が発生した際、国、自治体及び原子力事業者等が参集し、応急対策等を講じるための拠点となる施設です。

本県のオフサイトセンターは、平成14年4月に宮城県原子力防災対策センターとして女川町女川浜に設置しましたが、東日本大震災により被災し、使用不能となりました。

現在は仙台市宮城野区において暫定的な運用をしておりますが、原子力発電所からの距離などの要件を満たしていないため、新たな施設を早急に整備する必要があり、このたび、「宮城県立支援学校女川高等学園第2グラウンド」に隣接した場所に再建することとしました。

建築工事については今年7月に着工し、供用開始は平成31年度中を予定しています。

2 オフサイトセンターの概要

鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建て 延べ面積 3,794㎡

(1) 建物の主な特徴

- ・地震の被害を低減するための免震構造
- ・建物外からの放射線量を低減するためのコンクリート厚壁構造
- ・放射性物質の侵入を防ぐための空気浄化フィルターを搭載した換気、陽圧化設備

(2) 各階の概要

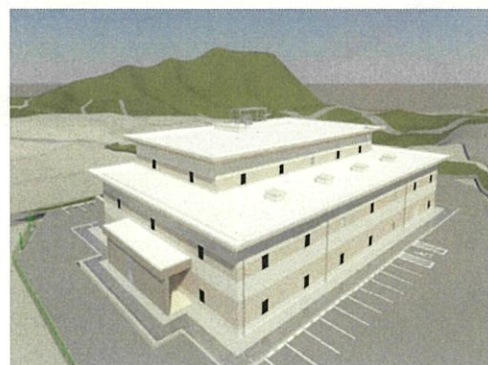
地階：免震関係設備

1階：原子力規制庁女川原子力規制事務所、除染室、倉庫、プレスルーム など

2階：原子力災害合同対策協議会及び県現地災害対策本部室、会議室 など

3階：仮眠室、休憩室、倉庫 など

(3) イメージ図



3 オフサイトセンターの立地場所

(1) 位置図



(2) 工事場所付近拡大図

